

令和4年12月20日
大気海洋部

令和4年台風第14号の確定値を掲載

令和4年台風第14号の事後解析による確定値を掲載しました。

本年9月に日本に上陸した台風第14号の事後解析による確定値（経路図と位置表）を、本日、気象庁ホームページの「過去の台風資料」（※）に掲載しましたのでお知らせします。

事後解析による主な変更点として、18日19時頃に鹿児島県鹿児島市付近に上陸した際、速報値では上陸時の中心気圧は935 hPaでしたが、確定値では940 hPaとしました。

※ 気象庁ホームページ「過去の台風資料」の URL

<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/index.html>

< 「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」について >

気象庁が公表する台風の中心位置や中心気圧などには、「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」があります。

「速報解析による速報値」は、限られた時間内に収集できたデータを用いて、速報的に解析したものです。その結果は、速報値として、リアルタイムに発表する台風情報に用いています。

「事後解析による確定値」は、台風消滅後、速報解析時点及びそれ以降に収集した資料も用いて、台風の発生から消滅までの時間的な推移を考慮しながら台風の位置や強度を再度詳細に解析し、最終的に定めたものです。その結果は確定値として、今後の台風予報の精度向上のための基礎資料や、台風の統計資料に用いています。

問合せ先：大気海洋部気象リスク対策課

アジア太平洋気象防災センター 吉松 電話 03-6758-3900（内線 4232）